

全国女性団体 連絡協議会 (旧婦人会)

いま、ががやいて活動している
女性たち
ぐっとアップ!

2024
7
NO.567

編集・発行 全国女性団体連絡協議会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14
電話 03-3407-4303 (代) <http://www.chifuren.gr.jp>
共催: 全国女性会館

ホームページからのお申込みが簡単です。



社会教育団体の 次世代リーダー研修 40代 50代 最新研究から学ぶ未来創造

趣 旨

100 年人生時代、サステナブルな社会に向けて、リーダーシップを持つこの重要性を理解し多様な意見に触れることで新たな視点を獲得し、対話を通じて気づきを得ることは大切です。中堅層が学ぶ機会の少ない中、スキルアップすることで自信を高め、挑戦するマインドや質を高めます。筑波大学の最先端研究を全国女性団体連絡協議会の次世代リーダーの皆様へ、満足いく講義をご提供します。

開催日程

筑波大学 情報メディアユニオン1階 ユニオン講義室 〒茨城県つくば市春日 1-2

日 程 9 月 21 日 (土) ・ 9 月 22 日 (日) ・ 10 月 19 日 (土) ・ 10 月 20 日 (日)

第1回 (1泊2日)	9/21 (土)	14 : 00 ~ 15 : 20 大学はテーマパーク！ (筑波大学長 永田恭介)	15 : 40 ~ 17 : 00 変わる勇気、変えるアクション ～意志あるところに道は開ける～ (体育系 教授 山口香)
	9/22 (日)	9 : 00 ~ 10 : 20 大人は次世代に何を伝えられるか --- おとぎ話と法学的感覚 --- (人文社会系 教授 星野豊)	10 : 40 ~ 12 : 00 科学的若返りの秘訣 - 間違ったダイエットからの脱皮 - (体育系 教授 久野譜也)
第2回 (1泊2日)	10/19 (土)	14 : 00 ~ 15 : 20 お金のはなし 株ってもうかるの？ (特定ミッションプロジェクトマネージャー 畑山 進 (元野村證券執行役員))	15 : 40 ~ 17 : 00 睡眠から始まるウェルネス (睡眠研究機構 教授 柳沢正史)
	10/20 (日)	9 : 00 ~ 10 : 20 現代女性文学入門 (人文社会系 教授 馬場美佳)	10 : 40 ~ 12 : 00 超高齢化を支える AI とサイバニクス (システム情報系 教授 鈴木健嗣)

※講座内容は予期なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

受講人数 : 100 名まで ※定員になり次第締切り

修了証発行 : 全日程のプログラムに参加した受講者には、筑波大学発行の受講修了証が授与されます。

Step up to
leadership.

筑波大学と提携
若手育成プログラム

始動!!

筑波大学永田学長にお願いしていた次世代リーダー研修が、やっと実現します。明治時代に発足した「愛国婦人会」、戦時中の「国防婦人会」、戦後の「全国地域婦人団体連絡協議会」、令和の「全国女性団体連絡協議会」と130年もの間、脈々と受け継がれてきた歴史と活動を、次世代につながることは私たちの責務です。人は一人では生きていけません。人間関係が希薄になりつつある現代だからこそ、私たちの活動は重要であり尊いものなのです。一人でも多くの次世代リーダーが育つことを願い、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

全国女性団体連絡協議会
会長 櫻井よう子



お申し込み

全国女性団体連絡協議会

東京都渋谷区渋谷1丁目17-14 3F 全国婦人会館

電話 : 0120-64-3800

メール : jimukyoku@zenjo-kai.jp

筑波大学

エクステンションプログラム



筑波大学
University of Tsukuba

全国の若手メンバー紹介。次世代を担う大切な仲間たちです!

世界をつなぐ婦人会!

島根県出雲市 陰山 亮子

長く中米ホンジュラスに住んでいた私が、10年ぶりに地元の島根県出雲市に戻り、新しい生活を模索していた最中、ホンジュラスにゆかりのある出雲市在住農学博士の先生からの紹介で、イベントに参加したことが出雲市連合婦人会(以下、出雲婦人会)入会のきっかけとなりました。会の皆さんがイキイキとした笑顔で迎えて下さったのを覚えています。

ホンジュラスでは、妊産婦・新生児死亡の減少、衛生環境・生活の質の向上などに取り組み、中でも都市部の青少年非行予防事業では、地域住民が青少年と共に地域のための活動をするを通して、地域で青少年を育てていくことを目指しました。

婦人会の綱領を初めて見た時、ホンジュラスでの取組と同じような目標ですと昔から島根県の女性が地域の活動が続けてきたことに大変驚くき、国や文化、人種が違えど、やはり願うことは一つ、自分が住む地域の人々のためになることに自分の魂を捧げつづけていくことであると、強く感じました。

久々に住む出雲市にはブラジル国籍の方々が多く住むようになっていました。先述の農学博士の先生が在住ブラジル人の方々の農業事業に協力していらつしたこと、私も関わるようになり、私が住んでいたホンジュラスは中米ですが、南米ブラジルと文化的に似通った点も多く、懐かしい気持ちで接すると同時に、人生で初めて日系ブラジル人の方々と出会いたくさんの新しい発見がありました。

彼らは110年以上前にブラジルに移民した日本人の子孫です。両親とも日本人で、ブラジルで生まれ育ち、言葉も食事も生活習慣もブラジル。「両親は日本人だけれどブラジルで生まれ育ったから、日本国民と認められない」、「日本語の会話はできるけれど、読み書きはできない」と聞くと、とても不思議な感覚を覚えました。もっと彼らのことを知りたくなり、市内のポルトガル語教室をすべて探し出し、すべての教室に通いました。ブラジル料理レストランに通い、店主と会話をしたり、ブラジルの生活について教えてもらったり、とにかく彼らの生活や文化を通して、彼らのことを知ろうとしました。

そのうち、「日本語の貼り紙を店先に出した」、「日本のランドセルや制服はとても高い、中古をもらえるような制度はないか」「日本語は出来ないけれどプログラミングを教えることができる、ボ

ランティアでいいからどこかで教えない」など、様々な希望・悩みを打ち明けてくれるようになりました。

ちょうどそのころ、現在の島根県連合婦人会会長であり、出雲婦人会会長でもある浅津会長より「外国籍の方も気軽に会員として参加できる地域をつくりませんか?」とお声掛けいただき、「多国籍地域」を設立することになりました。

多国籍地域の会員は日本人、ブラジル人、ペルー人、アイルランド人など様々です。「地域」という括りにとられないのが出雲婦人会の特徴であると言えるでしょうか。住む「地域」に縛られないことで、様々な繋がりが生まれました。会員の多くは日本語の読み書きが出来ません。案内文書を翻訳したり、直接話して伝えたり、時間をかけてコミュニケーションをとりますが、やはり一番いいのは、イベントに参加してもらうことです。一緒に楽しむ活動を通して、言葉が通じなくとも通じ合える何かがあるように、県内研修会に参加した10年以上日本に住む70代の日系ブラジル人の会員の方から「参加して良かった、日本でこんなに楽しいお友だちができるとは思わなかった、言葉が違っても、感じることを考えていることは同じだった」という感想をいただきました。

外国籍の彼らにとつて、住む地域に溶け込むことは簡単ではなく、残念ながら国籍が違うこと、言葉が通じないことで差別や偏見の対象になることも少なくありません。出雲婦人会のみなさんは外国籍の方々に対しても分け隔てなく優しく、イベントでブラジル料理を販売する際には率先して試してみたい、購入くださいます。地域の一員としての「会員」になる機会が限られている外国籍の方々は、「出雲婦人会会員」として地域の一員になっていることを、とても嬉しく感じてくださっています。

出雲婦人会の方々は元気で魅力的な60代、70代、80代の女性がたくさんいらつしやり、一人ひとりが非常に個性的でダンス、手芸、料理など様々な特技をもっている方が多いです。会合には、手作りの梅干しをもってきてくださったり、昔の市内の様子をお話くださったり、熱い想いを語ってくださったりと、本当に学ぶことだらけで、あつという間に時間が経つてしまいます。そして、毎回、何よりも大きな笑い声が絶えません。こんな風に素敵

に歳を重ねていきたいな、と思わされる方々ばかりで、将来目指す方向を示唆していただいているような、安心感をいただける方々です。

2023年10月、私は再びホンジュラスに戻ることになりました。会員になって2年足らずの私に会のみなさんは健康にだけは気を付けて、元気な顔を見せに帰ってきてね、向こうの様子を聞かせて、とまるで家族のように、大変温かく送り出してくださいました。

ホンジュラスの前大統領は麻薬取引斡旋で、2024年6月に終身刑となりました。国内には麻薬が蔓延し、青少年たちは簡単にこうした組織に巻き込まれていきます。生活のためのお金欲しさから麻薬組織に関わり10代にして命を落とすような子どもたちをたくさん見ました。国は貧しく、国民はよりよい生活を求め、国外へ不法移民する人が絶えません。農村部では水や電気の無い村も多く、水汲みが日課である子ども、日々妹や弟の面倒をみて過ごす子ども、まだまだそんな現実の中で暮らす人々がたくさんいます。

ホンジュラスの女性たちに婦人会の取組を紹介すると「ホンジュラスでは高齢の女性が活躍できる場がない」、「退職後、社会での居場所がなくなる」、「地域のためになる活動をした」との声が上がりました。そして2024年2月、ホンジュラス婦人会が結成されました。これまで出雲婦人会の皆さんと3回のオンライン交流を重ね、出雲市での活動を参考

にしながら、今後の活動について模索中です。出雲婦人会からは、「ホンジュラス地域」としてはどうか、という案もいただいています。なんと開けた精神!まさに、私たちの気持ちに国境はない!ホンジュラスに居ても、出雲婦人会の皆さんは、私が会の一員であることを受け入れてくださり、こうして活動を紹介する機会をいただいたことに心から感謝しています。どこにいても、地域のためになることを模索し、皆のために何かをしたい、という一人ひとりの想いが、いずれ世界を変える活動に繋がっていくと信じています。いつか、様々な国の人々が婦人会で繋がっていき、地球上の悲しい出来事を、一つでも多く消していける力になればと願ってやみません。ホンジュラスの婦人会の皆さんに日本の婦人会の活動を直に見て参加してもらえような日訪れることを夢見ています。



きました。きっかけは……?大きく影響していたと思います。毎日が忙しく、エーション大会で『ミニバから凄く楽しくて、いい汗を流しました。』と、仲世代の方々や仲良く楽しんでいた人達が居た方が良かったに声をかけていました。活動する運びとなり、受験の前に支部長を1年務めました。……には行かなくなっていて、今出来ることを考えながら良いなと思っています。

昨年、町の大ホール、と言っても収容人数は340名ほど、その大ホールで女性の会主催の研修会を開きました。私は、大役の司会進行をさせていただきました。会場は満席で緊張しましたが、私もできるんだと、自分に自信を持つことができました。そして、今は、女性の会で学んだ地域や町政に関心を持つことの大切さを小学6年生の租税教室の時間に伝える活動を始めました。「広報誌や議会だよりは難しいことばかりじゃないよ。みんなに関係あること、例えば、この校舎の修理には1億800万円使ったよ」とお話ししたら、子ども達も「えーそんなにかかると、前のめりに聞いてくれました。これからは女性の会の皆さんと一緒に新しいことにチャレンジしながら楽しく活動していきたいと思っています。

私が入会したきっかけは、子育てで一段落して自分のできることでお役に立つことはないかと考えていたときに、女性の会(婦人会)を知り、一人で入会をする勇氣はなく、ママ友を誘って入会しました。当初は、限られた時間での参加だったのですが、イベントで大木町特産きのコカレーを作って提供したり、庁舎前の花壇に職員さんたちと花苗を植えたりして、町なかに顔見知りが増えていくことはとても楽しかったです。それも毎回、「ありがたう」の言葉を掛けてもらって。他に、ずいぶん前から買い物袋持参運動の一つとして、廃傘を利用したエコバック作りをされているのですが、縫物の苦手な私は、「パッケージシールなら出来ます」と手を上げたら、そのうちに、会報も担当させてもらうようになりました。ムリせず、自分の好きなことに参加しています。

出来ることがどんどん広がっています。まだまだ進化していきます!!

福岡県大木町女性の会 野口 裕子



加入しなければできなかったこと

茨城県常総市女性団体 三妻支部 岩淵 直子

子供の小学校入学の前年に、地区の婦人会へ加入したのがきっかけでした。それまで、どんな活動をされているのか全く知らず、多方面で活動されていることに非常に驚いたことを覚えています。

日赤奉仕団、婦人防火クラブ、交通安全母の会…等、正直私に務まるのかと、とても不安でしたが、先輩方や仲間みんなが頼もしく、温かく接してくださり、心強く思い、何とか今日まで一緒にすることができました。加入しなければ、今迄知らなかった場所や有意義な体験、たくさんの方との出会いなどできなかったと実感しております。

特に記憶に残るのは、2015年9月に起きた鬼怒川決壊の際のボランティア支援です。私自身、浸水被害があり支援を受ける側になり、女性団体の方々から温かいお食事や支援物資など、被災した方の目線に合わせた心遣いが、本当にありがたかったです。

今後は、多様な時代に合わせた地域の安全・安心な暮らし、コミュニティの一助になれるよう、心がけていきたいと思っています。



ダメじゃない、の自己肯定で 農業、伝統芸能、親子での地域活動へ昇華

神奈川県海老名市 三部 孝子

資本主義社会で自身のキャリアを積む事に意欲があった仕事中心の30代後半、私は東日本大震災で保育園へお迎えに行けず、我が子の寝食を助けていただいた同級生家族と共に翌朝再会した時の事が私の転機と言えます。一人残された心細さ、慣れない環境での我慢、その限界からの怒りで泣く我が子から沢山のグーパンチを受けて、私が自分に使う時間を家族に使う事に転換してダメじゃない自分になりたいと考え始めました。

都内から夫の実家の海老名へ移り住み、我が子のお陰で6年間の小学校PTA活動で本部役員も務め、地域の公式ドッジボールチームに所属で週末の試合に付き添い、義父母の関係の地域の方々とも密に知り合う機会となりました。近所には県立農業アカデミーがあり、脱サラして一から農業を学ぼうと我が子が小6の時に1年の野菜技専コースに通い、農業を使わないオーガニックな農業を開始して8年目、地産地消を推進し、JAさがみ海老名グリーンセンターとユーコープ大谷店に出荷し、2年前から委託ですが農産物の加工食品も販売しています。

学生時代に学んだ時点から進行が止まらない緑の保全や環境問題に向き合っています。意識高く一人で頑張っても解決しない問題ですが、一緒に寄り添って農業に従事くださる慣行栽培が当たり前だった義父母の理解を得て、唯一の梅に使っていた農業を止めることになり、来年には全て完全オーガニックに切り替えて行く計画です。

今年2月からは市内のB型就労支援事業所さんに労働協力いただいて農福連携を開始。海老名市の個人農家では農福連携の第一号と聞いています。利用者さん6名と指導員さんが週一回来てくださり、体力消耗するけど楽しいと言ってくくださるので更に意欲も湧き、希望のSDGsな農作業と一緒に進められて、精神衛生がいいです。

地域にどっぷりと異年齢の知り合いが増えた事で、地域活動も忙しくやり甲斐があります。日本の伝統文化を身近に感じて欲しくて私は着付けをするのが少し役立ち、義母が役員をする海老名市地婦連が継承してきた無形文化財、海老名ささら踊りを私たち農業女子グループ(VegetablePeaceベジタブルピース)三人も浴衣を着て継承しています。(写真左が私)

同じく無形文化財の地歌舞伎がある大谷芸能保存会の舞踊奉納を行う大谷神明社と大谷八幡宮の例大祭では微力ながら継承した司会を3年仰せつかっています。

親子応援サポートのところでは海老名市青少年指導員として、一大イベント親子ナイトウォークラリー運営や挨拶運動のオアシス看板修繕作業と立哨あいさつ運動、12月には協力農家の餅わらを使ってお正月飾り教室で作り方指導を行っています。所属する海老名おやこ劇場では心豊かに親子で生の舞台劇や人形劇に音楽鑑賞、定期的な勉強会もあり、親子交流の自主活動や合評は異年齢でのサークル活動からも多様な気づきがあり、文化を通じて安心出来る異年齢集団の関わりが他には無い人間活動でやめられません(笑)。自主活動の芸術祭では実母の戦争体験の語り部の伝え部をした事で、えびな・九条の会報紙面に載り、そのきっかけから有志で立ち上げた、平和ってなんだろう?実行委員会メンバーとしてピアノ生演奏を交えた朗読劇など素敵な企画運営をし、ひろく市民に向けて日本の戦争体験を知ってもらい、平和の作り方を考えるきっかけになればと機会を設けています。

私が2年前から乳がんサバイバーとなった事で、誰でも同じだと思いますが限りある時間を注ぐ人、物、事に思い入れの意識が働きます。高齢の両親たちと夫も大学生になった我が子も、私の活動を支えてくれて感謝しかありません。

地域の人々と手を繋いで一人では出来ないことを自分に出来ることで地域活動へ昇華出来ているかな?と立ち止まっては、あれから私はダメじゃないと自負する今日この頃です。



義母から私へ

群馬県川場村 角田 泰子

私は主人の母から引き継ぐ形で婦人会に入りました。私が嫁に来た時に母は婦人会に加入しており、積極的に会の活動に参加しているのを見ていました。その母の姿を見て、自分も母のようにできるだろうかと不安もありました。いざ加入してみると楽しく、先輩方にも優しく接して頂き、いつか母の様になれたらと思います。



私は『いつまでも健康で動ける身体づくり』には食事・運動・寝ると言った生活習慣の見直しが必要なお伝えしながら、身体を整える仕事をしています。昔では考えられませんが、小学生で肩こり・腰痛・頭痛などが酷く来店される子もいます。猫背やストレートネックだけでなく、身体の歪みが酷いいろいろな症状が現れている子達が増えました。この女性会を通してもっと多くの人に、生活習慣を整える重要性を伝えていく活動をしていきたいと思います。

女性が持つエネルギーは大きな力

福岡県大川市連合女性会 川野 仁美

この度、福岡県大川市連合女性会に入会いたしました。以前までは「婦人会」という名がついており「婦人＝結婚した女性」、未婚女性は参加ができないと解釈していました。事実、未婚女性でも参加できたそうですが、今回名前が「女性会」に変わったことで、若い方や、未婚の方でも参加しやすくなったと思います。

また、5月には大川市連合女性会が発足70年ということで、記念展示会がありました。先輩方がその時代に合わせて、様々な活動をされているのを拝見し、やはり女性が持つエネルギーは大きな力になると感じました。私はこのエネルギーは、地域社会において重要な役割を果たしていると考えます。

先輩方の活動に感銘を受け、私もその一員として地域のために貢献したいという思いがさらに強くなりました。これからは、女性会の一員として、地域の課題に取り組み、新しいアイデアを出し合いながら、より良い社会づくりに尽力していきたいと思っています。



私は地球をまもるグリーンマンです。鳥取県連合婦人会 副会長 河本 六美

私はもったいない残さず食べよう感謝してをモットーに、食品ロス削減を子どもから大人まで広める活動をしているグリーンマンです。と言うのは仮の姿で、米子市連合婦人会の会長です。

今年度設立70周年を迎え、記念の米子市女性大会を開催しました。エバンジェリストの「若宮正子さん」に記念講演をして頂き、会員・市民の皆様方と共に喜びを分かち合いました。

人生100年時代、まだまだこれから仲間と共に楽しく学び、実り豊かな人生を歩んでいきたいと思っています。

レッツ エンジョイ 婦人会!!



あの味を出せる日を目標に

大分県 内丸 加奈子

今年で3年目、現在36歳。婦人会に入るきっかけは、住んでいる地域のまちづくり協議会事務局員として公民館で働くお話をいただいた時に、お世話になっている先輩からお誘いいただきました。「今後、婦人会のみなさんと活動させていただく機会も多く、早く名前と顔を覚えていただき、打ち解けていきたい」、そんな思いで入会を決めました。初めて婦人会の定例会に出席した日、ガチガチに緊張してしまいましたが、温かく迎え入れてくださり、帰る頃にはこれからの活動が楽しみでわくわくしている自分がありました。

今、活動を通して思うことは「婦人会(女性)こそ地域活動を支える縁の下の力もちである」ということです。各地区行事のお手伝いはもちろんのこと、朝のあいさつ運動、小学校や未就学児の支援事業、各種イベント運営や多種多様な講演会・講習会の参加など日々幅広く活躍されています。これを書くに「婦人会活動は大変」というイメージがついてしまっていますが、そんなことは決してありません。みなさん、さまざまな趣味や特技、経験を生かし活動されており、強さと優しさ、そして大きな愛を持って助け合い取り組まれるその姿に尊敬しかなく、私もそのような女性でありたいと日々感じています。

私が一番好きな婦人会活動は、「明治のとりめし作り」です。毎年このとりめしを楽しみにされている方々も多く、長年に渡り作り続けている先輩方の味は、簡単には真似できません。味をつけるタイミング、火の加減、出来上がった時の色や艶、香りが全く違うのです。「私もこの味を出せるようになりたい」。これが私の目標の1つとなっています。これからも婦人会活動に参加しながら、多くの出会いと経験を大切に、微力ではありますが、頑張っていきたいと思っています。



娘と一緒に新たなスタート

群馬県川場村 柴崎 由理

婦人会に入って気づいたら10年が経っていました。きっかけは……?何かは覚えていませんが、娘の小学校入学が大きく影響していたと思います。当時はまだシングルマザーでした。職場も替え、生活環境も変え、興味のある事柄など楽しみを駆け始めようとしていました。毎日が忙しくバタバタとしていましたが、婦人会のレクリエーション大会で『ミニバレーボール大会』に参加した際は、練習の時から凄く楽しくて、いい汗を流していたのを覚えています。

支部の中では若者は私一人でした。自分の親世代の方々や仲良く楽しく活動するのも良いのですが、やっぱり同世代の人だって居た方が良さ!と思って、自分なりに同じ地区のママ友伝いに声をかけていました。断られても、また声をかけて、数年後には一緒に活動する運びとなりました(笑)。シングルマザーも卒業し、娘の高校受験の前に支部長を1年務めて、今はすぐさま2回目の支部長を奮闘中です。

コロナ禍を経て、温暖化が進み、例年通り……には行かなくなっている世の中を感じています。婦人会活動を通して、今出来ることを考えながら、まずは地域貢献!を楽しみながらできたら良いなと思っています。



全国女性団体連絡協議会
副会長 荒木ミドリ
(熊本県)全国女性団体連絡協議会
副会長 五十嵐雪子
(山形県)全国女性団体連絡協議会
会長 櫻井よう子
(茨城県)

今年度の新規事業は、次世代リーダー研修、女性の目から見た地域の危険な場所マップ作りがあげられます。

28日は櫻井会長と各女性会(婦人会)の個別相談がありました。老朽化した婦人会館やその活用方法などが問われました。今後とも相談事がある場合は事務局へお気軽にご連絡ください。

出席41団体、委任状出席7団体をもって2024年度年次理事会が開催されました。2023年度事業報告、決算及び監査報告、2024年度事業計画案、予算案について、参加団体の了承を得て決定いたしました。任期満了に伴う役員改選については、立候補者が定数となり、会長櫻井よう子、副会長五十嵐雪子、副会長荒木ミドリに決定しました。

2024年度年次理事会が開催されました。2023年度事業報告、決算及び監査報告、2024年度事業計画案、予算案について、参加団体の了承を得て決定いたしました。任期満了に伴う役員改選については、立候補者が定数となり、会長櫻井よう子、副会長五十嵐雪子、副会長荒木ミドリに決定しました。

全国女性団体連絡協議会 2024年度年次理事会

2024年5月27日
渋谷商工会館消費者センター 大研修室



**ガス漏れは
見えぬからこそ
警報器**

ガス警報器工業会キャラクター
ほあんぽあん(保安保安)®

交換期限の年
20XX年

■ガス警報器 ■CO警報器 ■住宅用火災・CO警報器 ■住宅用火災・ガス・CO警報器 ■業務用換気警報器

警報器の交換期限は5年です。

ガス警報器工業会 <https://www.gkk.gr.jp>

福島県

福島も元気に！
笑顔とやる気で
頑張ります！

いわしろ女性会
高橋 民子

二松松婦人会
前田 紀子

杉田婦人会
山下 久美子

HABOMAI
北海道・歯舞

全国女性団体連絡協議会公認昆布

歯舞早煮昆布

皆さまが支えています

歯舞早煮昆布は、全女会が北方領土返還運動の一環として、北方領土で採れた貝殻島産榊前昆布を歯舞漁協で袋詰めしたものを全女会公認昆布として取扱いしております。

歯舞早煮昆布のご愛用
地域女性会の活動資金源

歯舞早煮昆布 200g巻タイプ

歯舞早煮昆布 200g切タイプ

★歯舞漁業協同組合

**LPガスのこと、
なんでもご相談ください！**

全国LPガスお客様相談所

03-3593-1100

【ご相談専用】受付時間9:00～17:00(土曜・日曜・祝日除く)

一般社団法人全国LPガス協会

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-6 共栄火災ビル7階

北方領土アニメーション

エトピリカ

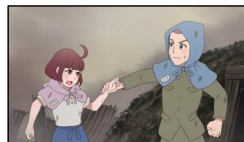
～想いを紡ぐ鳥～

昭和20年の終戦当時、北方領土で何が起きたのか

元島民が強いられた「故郷を追われる」過酷な体験を知ってください。



WEBで無料公開中！



独立行政法人
北方領土問題対策協会

LPガスとカーボンニュートラル

多発する気象災害 CO₂削減が急務

近年の夏季は暑さが厳しく、「記録的な猛暑、熱中症に注意」などの言葉を毎年のように耳にします。気候変動による気象災害が多発しており、豪雨による河川の氾濫や浸水被害など、国民生活に大きな影響を及ぼしています。

こうした気候変動は、私たちの経済活動や日常生活の中で排出している二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが主な原因とされています。将来にわたり持続可能な社会を実現するため、温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みが急務なのです。

2050年カーボンニュートラル

2020年10月、政府は「2050年カーボンニュートラル」宣言を発出しました。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量から植林・森林管理等による吸収量を差し引いて実質ゼロにするもので、政府は省エネを徹底し、また、再生可能エネルギーを最大限に利用するなどの対策を通じて実現していく方針を示しました。

そのためのステップとして、2030年度に2013年度

比で46%の温室効果ガス排出を削減する目標を掲げています。

グリーンLPガスの社会実装へ

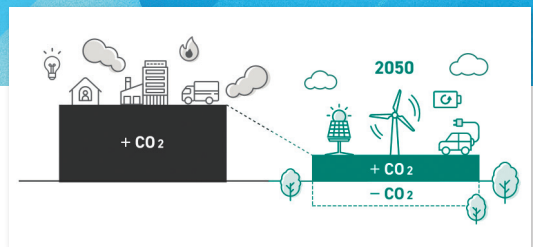
LPガス業界もカーボンニュートラル実現に向け、さまざまな取り組みを進めています。

水素と炭素のプロパン合成やバイオ資源の活用など、化石燃料に由来しない新しいLPガス「グリーンLPガス」を開発し、早期の社会実装を目指しています。将来的には現在のLPガスをグリーンLPガスで代替し、LPガスの脱炭素化を図っていきます。

カーボンニュートラルLPガスを普及

これと並行して「カーボンニュートラルLPガス」の普及を進めています。これはLPガスの生産から燃焼して使用するまでの全工程で発生する温室効果ガスを、世界の森林保全プロジェクト等による排出削減効果で相殺したLPガスです。

LPガス事業者は従来のLPガスに代えて、カーボンニュートラルLPガスの普及を推進しており、地球に優



出典：環境省

しいエネルギーLPガスを、よりクリーンにする取り組みを進めています。

家庭でできるCO₂削減

LPガスを利用して、私たちの家庭でできるCO₂削減もあります。

エネファームやハイブリッド給湯機、エコジョーズといった高効率給湯機はエネルギー効率に優れ、これらを利用することで家庭の省エネとCO₂削減に貢献します。

「地球に優しいエネルギーで快適な暮らし」

これが、これからのライフスタイルです。



日本LPガス団体協議会

